

企業・NPO 協働奨励事業説明書

団体名	ママの働き方応援隊	代表者名	理事長 上野 至大
事業名	女性が出産後も働き続けるために・・・ 保育料無料化事業 「ZEROプロジェクト」		
協働の相手方	ダイドードリンコ株式会社 大阪市北区中之島二丁目2番7号		

事業概要

ZEROプロジェクト

企業にZEROキャラクター入りの商品を開発していただき、収益の一部をZERO基金に寄付。1年間の寄付金をワーキングマザーとしてエントリーした母親達に保育料として還元していくという取り組みである。

企業側にはCSRと商品の差別化による売上アップ、また、従業員にとってもモチベーションアップにつながる。

消費者にとっては自らの意思で商品を選択でき、子どもを預けて働く母親に自分が消費した分が還元される仕組みへの参加ができる。まさしく民の力を活用して待機児童問題を解決する為の協働プロジェクトとなる。

ZEROプロジェクト第一弾はダイドードリンコによるZERO自販機

- ① 2010年7月末よりダイドードリンコ株式会社との協働によるZERO自動販売機を開発。神戸市内に順次設置。9月末現在、市内の大手企業を中心に8か所設置。社会貢献型自販機としてダイドー側がすでに取り組んでいる緑の募金自販機（全国に4000台設置）と同じく全国展開として5年間で4000台設置を目標に取り組む。
- ② 2010年8月21日 「ママの働き方革命シンポジウム開催」
ZEROプロジェクトのキックオフイベントとして兵庫県男女共同参画センターとの共催で開催。ZEROプロジェクトの取り組みを紹介し200名以上の参加者から多くの共感をいただいた。

効果と成果

NPO・・・自販機を設置することでプロジェクトを世の中にアピールできる。
自販機による寄付なので①コストゼロ②コンスタントな収益が見込める。
消費者及び設置先企業が無理なく寄付行為に参加できる。

企業・・・企業イメージのアップ（社会貢献）
新たな自販機設置先の開拓
他社との差別化